

先端研究拠点事業—国際戦略型—  
「ソフトマターと情報に関する非平衡ダイナミクス」  
セミナー・シンポジウム 派遣報告書

2014年 10月 6日

氏名(ふりがな)	川本 達郎 (かわもと たつろう)
所属機関・部局・専攻内の所属分野	東京工業大学 総合理工学研究科
身分・学年 (学生の場合は指導教員名)	学術振興会特別研究員(PD)
メールアドレス	kawamoto@sp.dis.titech.ac.jp
電話番号、FAX	045-924-5652

セミナー・ シンポジウム名	Spin glasses: An old tool for new problems
場所 (国名・都市)	フランス・カルジェーズ
派遣期間	8月24日～9月7日
セミナー等の日程	8月25日～9月6日
URL	<a href="http://www.lps.ens.fr/~krzakala/WEBSITE_Cargese/home.htm">http://www.lps.ens.fr/~krzakala/WEBSITE_Cargese/home.htm</a>

スピングラスを中心とした様々な話題について毎日の講義を通じて学ぶことができた。また、ポスターセッションにおいては、自分の研究に関連する、他の人たちの最近の研究の紹介を詳しく聞くことができ、大変参考になった。議論としては、Moore 氏、Kirkpatrick 氏、Krzakala 氏、Zdeborova 氏に個人的に質問し、抱えていた疑問や、講演で理解できなかった部分について補完することができた。内容としては、近年主に Krzakala 氏らによって進められているグラフ分割における detectability の話題や、ハブが存在することによってスペクトル法によるグラフ分割がうまく機能しないことに対する解決策として研究されている non-backtracking operator の方法について、理解を深め、どの程度まで明らかにされているのかを知ることができた。今まで自分の研究とは直接の関係がないと思っていた話題にも関連性があることが分かり、今後の方向性を決める上で非常に有益なサマースクールであった。